

ECO-P 1000

簡単お手入れマニュアル

ECO-P1000 : Maintenance Manual

本書は、お客様ご自身で簡単にトラブル解決できるメンテナンス方法をまとめたものです。
是非、お手元に大切に保管してご活用ください。

目 Index

01 給紙ローラーの清掃方法について [給紙ミス・給紙トラブルの予防]

1. クリーニングシートを使った給紙ローラーの清掃方法
2. エタノールとガーゼ(布)を使った給紙ローラーの清掃方法

02 ノズルチェックとヘッドクリーニングについて [画像トラブルの予防]

1. ノズルチェックの方法
2. ヘッドクリーニングの方法

03 背面オートシートフィーダでの紙詰まり

04 用紙・インクについて [消耗品使用時のご注意点]

1. 用紙について (紙が原因のトラブルを予防するために・・・)
2. インクについて (良好な印字画像を保つために・・・)

05 インフォメーションのご案内

01 給紙ローラーの清掃方法について [給紙ミス・給紙トラブルの予防]

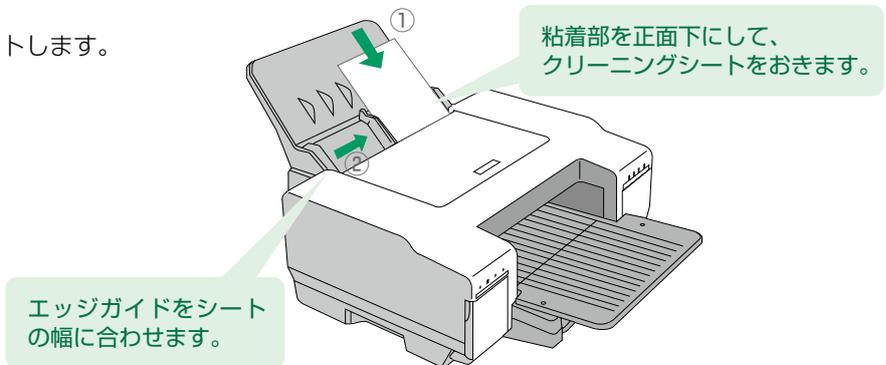
▶ 1. クリーニングシートを使った給紙ローラーの清掃方法

① プリンタの電源を入れます。

② クリーニングシートのシールを2枚はがします。



③ プリンタにクリーニングシートをセットします。



④ 給排紙スイッチを押してください。クリーニングシートが給紙されます。給紙が止まったら、再度給排紙スイッチを押してください。クリーニングシートが完全に排紙できれば、完了です。



以上で作業は終了ですが、クリーニングシートの粘着部の汚れがひどいようでしたら、②～の作業を再度お願いいたします。
クリーニングシートは通常3～4回使用できます。

Point

- ▶ クリーニングシートは弊社消耗品カタログ、または EM オンライン SHOP にて消耗品としてご注文承ります。
[クリーニングシート 型番 EMC001 1 セット 10 枚]
- ▶ クリーニングシートの改善が見られないようでしたら、汚れが強く付着している可能性があります。



2. エタノールとガーゼ（布）を使った給紙ローラーの清掃方法 をお試しください。

(但し、赤色の給排紙ランプが点滅してしまっていたら内部に紙片があるメッセージですので紙片や異物を機内から取り除いてください。)

➤ 2. エタノールとガーゼ（布）を使った給紙ローラーの清掃方法

次の場合、給紙ローラーの清掃をお願いします。

- ・紙詰まりが発生
- ・白紙で排紙される
- ・ランプが点灯して、印刷できない。

➔ 背面オートシートフィーダ

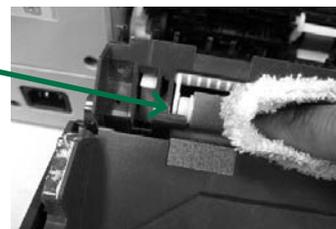
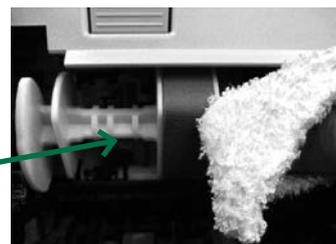
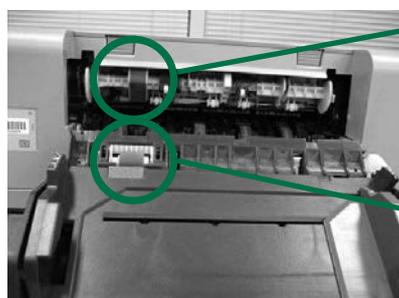
- ① 背面サポートを外します。



- ② 背面カバーを開きます。

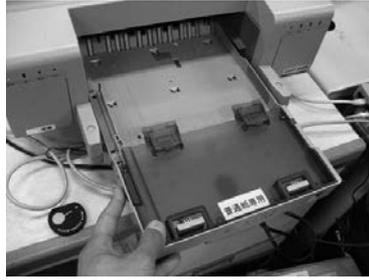


- ③ 2個のローラーを清掃します。
エタノールを少量、布（ガーゼ等、毛羽の少ないもの）に含ませ、給紙ローラーを指で巻いた布（ガーゼ等）でこするように拭きます。

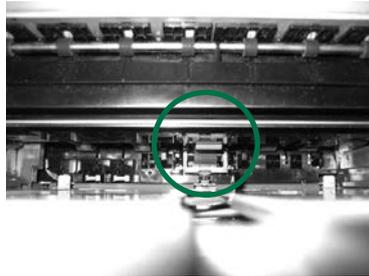


→ 給紙カセット

- ① 給紙カセットを外します。



- ② プリンタ内部中央にローラーが1個ありますので、それをこするように拭きます。



👉 Point

- ▶ 全く回復しない場合は故障の可能性も考えられます。各インフォメーションセンターまでご相談ください。
- ▶ 汚れた用紙、濡れた用紙を通紙しないことにより給紙ローラーの汚れは予防できます。
- ▶ カールした用紙は紙送り不良の原因となります。

02 ノズルチェックとヘッドクリーニングについて [画像トラブルの予防]

ノズルチェックとヘッドクリーニングの操作手順

→ ノズルチェック

- ① プリンタの電源をオフにします。

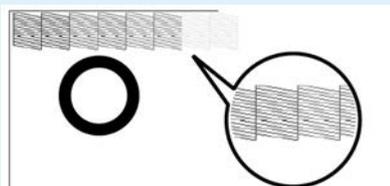
- ② 用紙を背面オートシートフィーダに複数枚セットします。

- ③ 【給排紙】 ボタンを押したまま、【電源】 ボタンを押します。
 【給排紙】 ボタンは、動作音がするまで押したままにしてください。
 【電源】 ボタンは、押した後すぐに離してください。

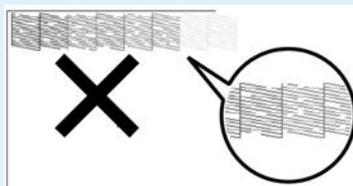
- ④ 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。
 正常の例のようにすべてのラインが印刷されていれば、目詰まりしていません。
 かすれたり、印刷されないラインがある場合は、目詰まりしていますので、プリントヘッドをクリーニングします。画面の指示に従ってヘッドクリーニングを行ってください。

Point

▶ 正常な印刷例



▶ ノズルが目詰まりしている場合の印刷例



→ ヘッドクリーニング

- ① プリンタの電源がオンになっていることを確認して、【クリーニング】 ボタンを 3 秒間押したままにします。
 電源ランプが点滅して、ヘッドクリーニングが約 2 分間行われます。
 電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

- ② ヘッドクリーニング後は、再度ノズルチェックを行って、ノズルの目詰まりが解消されたかをご確認ください。

注意

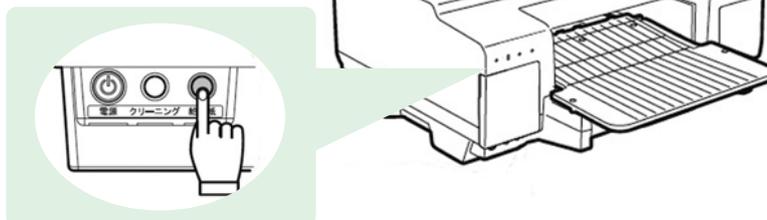
- ▶ ヘッドクリーニングはインクを消費します。必要以上のヘッドクリーニング実行はインクカートリッジの寿命を早めますのでご注意ください。

03 背面オートシートフィーダでの紙詰まり

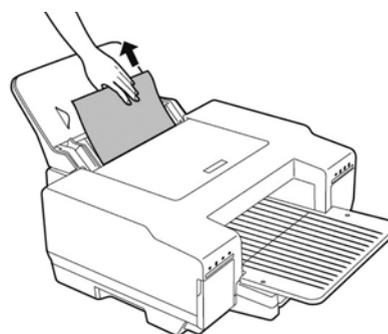
▶ 背面オートシートフィーダでの紙詰まりの取り除き方法

背面オートシートフィーダ部分で紙が詰まったときは、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

- ① 【給排紙】 ボタンを押し、用紙が排紙されるか確認します。



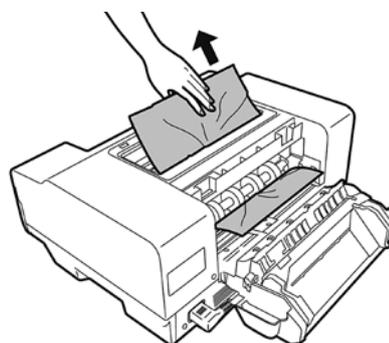
- ② 用紙が排紙されない場合は電源をオフにしてから、背面オートシートフィーダで詰まっている用紙をゆっくりと引き抜きます。



- ③ 紙がプリンタ内部にある場合は、まず用紙サポートを取り外します。

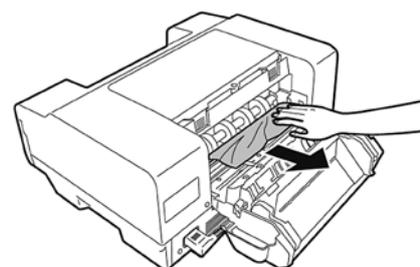
- ④ プリンタ背面のつまみをつまんで、背面カバーを開けます。

- ⑤ 詰まった用紙を取り除きます。



- ⑥ 用紙が見つからないときは、上面カバーを開けます。
(※背面カバーが開いている状態で、上面カバーを固定している部分を押し上げるようにして開けます。)

- ⑦ 詰まった用紙を取り除きます。



⚠ 注意

▶ エラーランプが点灯している場合は、【給排紙】 ボタンを押してください。用紙がすでに引き込まれている場合は、いったん用紙を排紙します。それから、再度用紙をセットしてください。

04 用紙・インクについて [消耗品使用時のご注意点]

▶ 用紙について（紙が原因のトラブルを予防するために・・・）

ソリや変形が多い場合は、給紙できないことがあります。



用紙のソリや変形を手で修正してから印字させる、
もしくは他の新しい用紙をセットしてご使用下さい。

●以下の用紙は、ソリや変形の原因となりやすく注意が必要です。

- ◎ハサミやカッターで切った用紙
- ◎濡れた用紙・折れた用紙
- ◎薄すぎる用紙・厚すぎる用紙

▶ インクについて（常に良好な印字画像を保つために）

EM システムズ純正インクカートリッジの使用をお願い致します。



インクカートリッジ
（ブラック）
<型番> EMICTM70B-S



インクカートリッジ
（シアン）
<型番> EMICTM70C-S



インクカートリッジ
（マゼンタ）
<型番> EMICTM70M-S



インクカートリッジ
（イエロー）
<型番> EMICTM70Y-S



インクカートリッジ
（ブラック 2 個パック）
<型番> EMICTM70BK2P



インクカートリッジ
（カラー各色 2 個パック）
<型番> EMICTM70CL2P

⚠ 注意

- ▶ 必ず、箱に記載された有効期限までにお使いください。
- ▶ 構造上、黒色使用のみでもカラーインクが消費されます。（微量）
- ▶ EM システムズ純正インクカートリッジ以外をご使用の場合（詰め替えインク等）
修理対応時 5年保証が適用されず、有償修理対応となる場合がございます。

消耗品のご注文について

EMオンラインSHOP

インクカートリッジをはじめ消耗品のご注文は下記 EM オンライン SHOP にて承っております。

<https://shop.emsystems.co.jp/shop/>

※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。

05 インフォメーションのご案内

ECO-P1000 の操作、故障に関するお問い合わせは各地区の管轄インフォメーションセンターまでお願いいたします。

管轄インフォメーションセンター	対象	電話番号	FAX 番号
東京インフォメーションセンター	北海道、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の調剤システムをご利用のお客様	050-5577-2793	03-5956-0125
	E-mail	tkinfo@emsystems.co.jp	
東京インフォメーションセンター【医科】	北海道、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の医科システムをご利用のお客様	050-5577-5208	03-5956-0125
	E-mail	hc_info@emsystems.co.jp	
東北インフォメーションセンター	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県のお客様	050-5577-5207	022-224-0821
	E-mail	tohokuinfo@emsystems.co.jp	
中部インフォメーションセンター	富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県のお客様	050-5577-5206	052-202-0068
	E-mail	ngoinfo@emsystems.co.jp	
関西インフォメーションセンター	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の調剤システムをご利用のお客様	050-5577-5205	06-6393-2111
	E-mail	kansaiinfo@emsystems.co.jp	
関西インフォメーションセンター【医科】	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の医科システムをご利用のお客様	050-5577-5209	06-6391-2128
	E-mail	hc_info@emsystems.co.jp	
コスモシステムズ（株） カスタマーサポートセンター	中国・四国地方のお客様	050-5577-5201	082-270-0688
	E-mail	cosmocs@cosmo-s-systems.com	
九州インフォメーションセンター	九州全域、沖縄県のお客様	050-5577-2794	092-481-8380
	E-mail	fukuoka@emsystems.co.jp	

操作お問合せ	月～金：AM 8:40～PM 8:00 / 土：AM 8:40～PM 6:00 日・祝日：AM 8:40～PM 6:00 (調剤システムのみ)
障害受付	月～金：AM 8:40～PM 9:00 / 土：AM 8:40～PM 6:00 日・祝日：AM 8:40～PM 6:00
<ul style="list-style-type: none"> ●PM 8:00～PM 9:00 入力操作方法やレセプト（エラー連絡表等含む）に関するお問い合わせをいただきましてもご回答が次営業日以降となる可能性がございますのでご了承ください。 ●日・祝のみ大阪本社で一括して受け付けさせていただくため電話が転送されます。ご了承ください。 なお、日・祝は調剤システムと障害受付のみ営業しております。 	

よくあるお問い合わせ HP (FAQ サイト)
<p>お客様よりいただくよくあるお問い合わせ (FAQ) を下記に記載しております。 インフォメーションセンターとあわせてご活用ください。</p> <p>http://emsystems.co.jp/faq</p> <p>※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。</p>